



令和4年度 北海道LFPキックオフミーティング

地域**食品産業**連携プロジェクト (北海道LFP) について

※LFPの国事業としての名称は、R3は「地域食農連携プロジェクト」でしたが、R4は「地域食品産業連携プロジェクト」になりました。が、道事業名は予算編成上の都合により旧事業名のままなので、表記が混在している場合があります。

VERSION 1.0 2022.9.6

北海道経済部食産業振興課

本日まで説明する内容

1. LFP（北海道LFP）では何をするのか
2. 今年度（令和4年度）の取組テーマ
3. 補助金のこと
4. パートナーの募集について

補足：事例セッションにあたって



北海道

食絶景北海道



「LFP」とは？

- 「Local Food Project」の略。
- 「食（food）とイノベーションの力で地域（local）の課題を解決する取組（project）」
- 地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画するプラットフォームを形成し、地域の農林水産物を活用したビジネスを創出する取組
- キーワード
 - 社会的課題と経済的利益の両立
 - 持続的なビジネスモデル
 - 多様な関係者や業種の各主体（≒事業者）が、それぞれの知見、技術、販路などの知見を結集し協働
 - 「アイデア」を出し合い「イノベーション」を起こし「ビジネス化」する仕組み作り

※参考 農水省ホームページでの紹介

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/seisaku/lfp-pj.html>



北海道

食絶景北海道



何をする活動か

- **あなた／誰かのアイデアを、みんなでビジネスにする**活動です。
- **ワークショップ**で、食に関係するビジネスについての「問題意識」や「やってみたいこと」について参加者が話し合い、アイデアを発展させたり、考えをまとめたり／発散させたりします。
- 継続討議したいテーマが見つかったら、チームを再編成し、**戦略会議**へ移行します。
- 実際の活動の準備が整ったチームには、
試作品開発・販路開拓等の経費を補助します。
 - 戦略会議への参加と事業計画書の提出が必須
 - 補助金の対象は年度あたり1件（※1）
 - 生産者・製造事業者・流通事業者を含む「チーム」での応募が条件（※2）

※1 補助プロジェクト以外のチームについても課題に応じた支援は行います。

※2 補助金の申請条件については後ほど説明します。



北海道

食絶景北海道



令和4年度の取組テーマ：

(令和3年度に決めたLFP事業戦略である、
「北海道らしいおいしさの産業化」(※)をベースに)

「北海道ブランドの更なる向上を目的に、
海外市場を想定し、
食農のみならず多様な業種の連携による商品開発に加え、
サービス開発やシステム改編も含めた
総合的な産業モデルを新たに創造する。」

※「北海道らしいおいしさ」の産業化=R3に「UMAMI王国北海道」と表現していたものの言い換え。いわゆる調味料のほか、食品素材を風味を増す目的で加工し、他の食材との組み合わせで食の豊かさを増すことが期待されるものを題材にした、商品開発、販路構築、マーケティング、輸配送の工夫などを含めた持続的なビジネスモデルの創出を想定。



(今すぐ海外に出なくてもいいので)
海外市場＝海外の消費者（インバウンド含む）をターゲットにした
食を軸にしたビジネスについて、話し合っていきます。



北海道

食絶景北海道



北海道LFP「UMAMI王国北海道」 における取組のステップ

ビジョン（10～15年後）

- ・ 「うまみ」の分野における「北海道を代表する味」「食文化」の存在
- ・ 商品を軸にした広範囲な地域の産業サイクルの成立
- ・ 世界に通用する産業としての企画・製造・販売能力の定着

第3期（7～9年後）食文化の創出、産業の定着

- ・ 「うまみ」をとりこんだ北海道の食文化の創出
- ・ 「うまみ」に着眼した催事の定番化
- ・ 海外市場での継続的な取り扱いを目指す

第2期（4～6年後）食文化定着に向けた「うまみ」プロモーション

- ・ 「うまみ」の産業化に向けた食文化プロモーション
- ・ 既存商品、新規商品を取りまぜた「北海道のうまみ」の押し出し
- ・ 輸出促進事業、（インバウンドの復活を見込んだ）観光事業等との連動

第1期（1～3年後）事業モデルの練り上げ

- ・ 1年目（2021）：候補案件の収集、初期事業モデルの確立
- ・ 2年目（2022）：初期事業モデルの本格推進と検証
- ・ **3年目（2023）：海外市場も視野に入れた事業モデルの展開**
- ・ メディアと連携したプロモーション活動
- ・ クラウドファンディングを活用した資金調達取組

※プロジェクト支援外では、道内外の様々な支援制度を連携させた商品開発・販路開拓支援の仕組みの定番化を目指す

※LFPの取組の中で各種のマッチングを促進し、次段階を視野に入れた取組にも着手

※進捗によっては
前倒しの取組も検討



北海道

食絶景北海道



令和4年度北海道LFP 実施計画（R4.9.9時点）

要綱上の名称	研修（第1回）	研修（第2回）	戦略会議（第1回）	戦略会議（第2回）	間接補助事業[X]	間接補助以外[Y群]
通称	キックオフセミナー	ワークショップ	戦略会議①	戦略会議②	補助プロジェクト	テーマプロジェクト
形式	講義（オンライン）	グループディスカッション（形式未定）	グループディスカッション（形式未定）	グループディスカッション（形式未定）	固定メンバーによるプロジェクト	事業者を主体とした次年度に向けた議論
参加者	<ul style="list-style-type: none"> LFPパートナー及び事業に関心を持つすべての方 	<ul style="list-style-type: none"> LFPパートナー及びその候補者（公募） 	<ul style="list-style-type: none"> LFPパートナー（ワークショップの結果によりマッチング） 	<ul style="list-style-type: none"> LFPパートナー（ワークショップの結果によりマッチング） 	<ul style="list-style-type: none"> 戦略会議での討議を経て事業計画を作成・提出した者 	<ul style="list-style-type: none"> WS・戦略会議で開発されたコンセプトを実現する事業者群（テーマ別）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> LFPとは何か R4北海道LFP方針 R3LFPの成果（ゆめせんか）報告 海外市場に向けた食品ビジネスの考え方 ワークショップ予告 	<ul style="list-style-type: none"> グループ討議 戦略会議に向けた意識の進化、各参加者の問題意識のすりあわせ 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップに基づきテーマとチームを再編成して協議（2～3チーム程度想定） 	前回の続き	商品開発と販路開拓 ※戦略会議をベースにしたプロジェクト化を想定	支援チーム相互の支援により、リモートミーティング等を実施することで、次年度以降の展開やビジネス創発を促す。
想定アウトプット	目線あわせ ワークショップに向けた事前情報提供	戦略会議で深掘するテーマ設定と各チームのメンバー	チームごとのビジネス創出に向けたアイディア群	チームごとのビジネスモデル案→XとY群に分け支援	最低でも試作品クラウドファンディング挑戦が望ましい	事業者によるビジネス化 次年度事業の獲得等
時期の想定	2022/9/9（本日）	2022/9/30予定	2022/10/14（仮）	2022/10/28（仮）	戦略会議以後	戦略会議以後
討議テーマ	—	「北海道らしいおいしさの海外進出」を念頭に事務局で設定 <ul style="list-style-type: none"> ワイガン市場？ 現地生産の是非？ 外食産業向け商品 etc…（以上は案） 	ワークショップをもとに事務局で検討・編成 （補助事業とその将来候補を意識する） 海外市場ビギナー層向けの育成チームを編成することを想定	前回の続き	（実際のビジネスに向けた議論）	同上

令和4年度地域食農連携プロジェクト推進事業 補助金について

補助金交付の条件

- (1) LFPパートナー（プラットフォームメンバー）による、生産者／食品加工業者／流通・販売事業者の各1者以上、計3者以上が参加するプロジェクトの計画が立案されていること（多い分には制約なし）
- (2) ビジネスアイデアをLFPの戦略会議で討議していること
- (3) 事前に所定の様式による事業計画書が提出されていること
- (4) 申請者は生産者／食品加工業者／流通・販売事業者のいずれかであるか、これらを含むコンソーシアムであること。

補助対象経費 1 新商品等の企画・実証・ 開発に係る経費

- データを活用したマーケティング費用
- 試作品開発員の手当
- パッケージ開発員の手当
- 試作品材料・資材購入費
- 成分分析検査費
- 試作品の製造・新サービス実証に関する機器のレンタル・リース料等

補助対象経費 2 販路開拓の実施に係る経費

- 消費者評価会に係る費用
 - 会場借料
 - 資料印刷費
 - アンケート印刷費
 - 集計作業員の賃金
- 販売促進展開費
 - 出展料
 - 出展旅費（2名×2回迄）
 - 商品紹介資料制作・印刷費
 - 展示品輸送費
 - インターネット上の試験販売費
 - 消耗品費 等

その他条件

- 年度あたりに補助可能なプロジェクトは1件です。
- 補助上限額は400万円です。（10/10補助）
- 本補助金によって開発された試作品により収益が得られた場合は、補助額を上限として利益を返納しなければならない規定があります。



北海道 本補助金については道Webサイトに告示済み（[北海道告示第10636号](#)）ですのでご参考としてください。（後日補助金についての説明ページも用意する予定です）

食絶景北海道



パートナーの募集について

- LFPパートナーは、随時募集しています。
＜北海道の食＞で＜海外市場を狙っていく＞というテーマにおいて、「チャレンジしてみたいこと、作ってみたい商品やビジネスがあるけれど、一社の力では限界がある」とお考えの方、是非ご参加をご検討ください。
(既存パートナー以外でご参加いただける方は、本セミナー後に事務局へお知らせください。)
- 本事業に興味があるが、ワークショップや戦略会議の予定スケジュールが合わない場合も、事務局へご相談ください。対応を検討いたします。
- 当面情報収集のみを希望される方も、お気軽にお申し込みいただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました！



北海道

食絶景北海道

